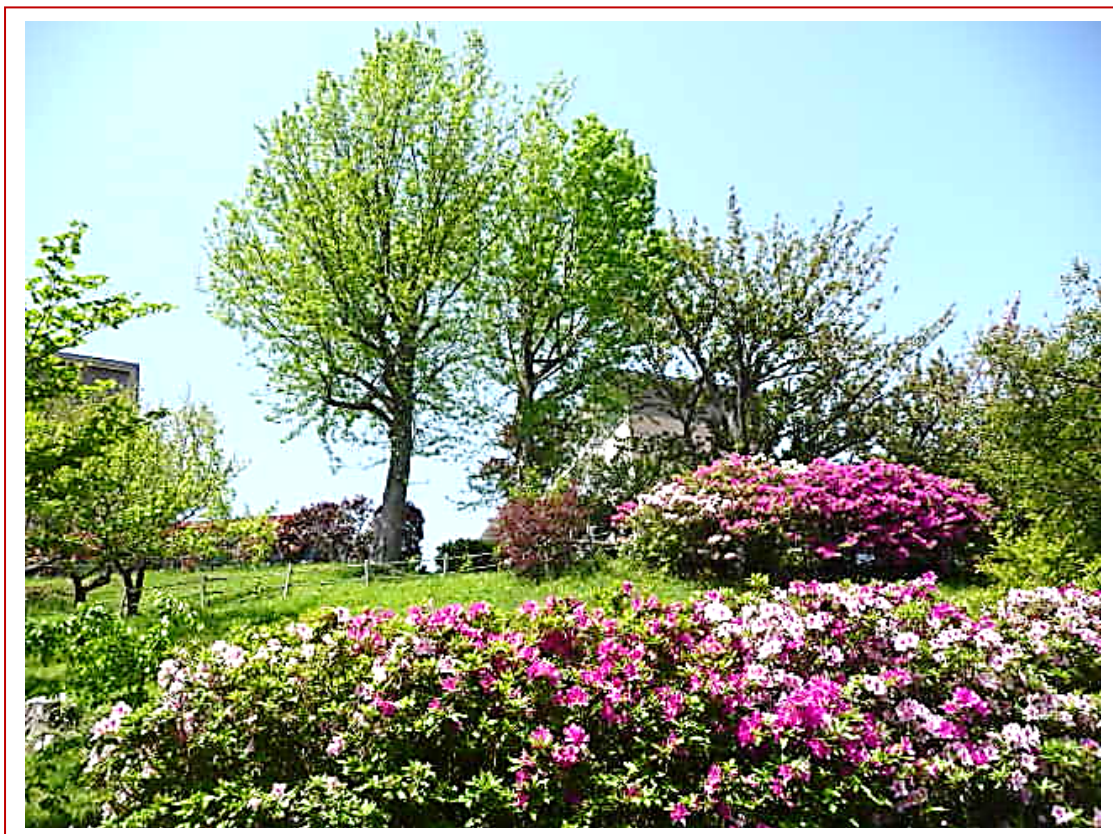


竹山一丁目地区 地域緑化計画書

計画名：竹山一丁目百花繚乱の丘転換計画

推進団体名：竹山一丁目百花繚乱プロジェクト



地区の範囲



計画期間	令和8年度 ～ 令和10年度
背景	<p>2024年3月に発表された竹山未来計画は、ミッションを「次世代に選ばれる竹山」とし、4つの行動指針として、「オール竹山で団地再生に取り組む」「選ばれる団地にバージョンアップする」を掲げている。竹山未来計画の実践としてこのプロジェクトを立ち上げる。団地の広い敷地内には、住民の努力により管理されている緑地と、管理が行きとどいていない雑草地がある。この管理が行きとどいていない雑草地を、オール竹山の共同の力で、「次世代に選ばれる竹山」「散歩したくなる団地」を目指し、四季の花いっぱい緑地として転換したい。</p>
計画の目標	<p>《提案計画の目標》 散歩したくなる団地づくり、そして次世代に選ばれる竹山団地</p> <p><具体的な目標と目標達成のための方法></p> <p>① 緑化による散歩したくなる団地へバージョンアップ 老朽化した花壇を大改修、及び雑草地に花壇を新たに設置し、四季の花を植えて、花と緑の団地へバージョンアップします。</p> <p>② プロジェクトの活動を広く周知し、機運や関心の醸成を図る 既存の自治会広報紙や管理組合のホームページのほか、「百花繚乱ニュース」を創刊し、竹山団地全体に取り組みを発信することで、団地内緑化の機運や関心を高めます。またタウンニュースに活動内容をリリースし、取り上げてもらうことで、団地内外に活動を広げます。</p> <p>③ 地域緑化活動の仲間を広げる 花植えの際は、団地内住民や近隣保育園等に広く参加を呼びかけるほか、緑化に関する講習会やワークショップ等を開催し、担い手の確保や育成に取り組みます。</p>
組織づくり	<p>① プロジェクトは、竹山一丁目自治会と竹山16-2 団地管理組合法人・竹山18-1・18-2 住宅管理組合の4団体の代表により構成し、運営委員会を設けます。</p> <p>② プロジェクトに参加する4団体は、運営委員会で決定した実施計画に基づき、各団体の居住者の協力のもとで、その年度の詳細な実行計画を作成し確実に実行します。</p> <p>③ 管理組合の敷地内の緑化計画は、当該管理組合において主体的に実施するものとし、必要に応じて、運営委員会で応援計画を作成します。</p> <p>④ 竹山一丁目東公園下の緑化活動は、運営委員会で実施計画を作成し、竹山一丁目自治会の運営委員4人が主体となり、自治会組合員全体に呼びかけて実施します。</p>

計画年次	計 画 内 容
<p style="text-align: center;">1年目 (令和8年度)</p>	<p>○民有地緑化</p> <p>① A部(竹山1-6-5バス通り歩道側)の老朽化した花壇を拡大して整備 土留め改修、土壌改良、四季の花13種を植栽。</p> <p>② A部(竹山1-6-5バス通り歩道側)アジサイ花壇のバージョンアップ アジサイの根元周辺一列に、アジサイの花後を彩る彼岸花の植栽。</p> <p>③ B部(竹山一丁目東公園下歩道側一角)花壇新設 花間の境に見切板を設置、土壌改良、四季の花5種を植栽。</p> <p>○地域緑化活動</p> <p>① 植栽時に花植講習会と「皆で花を植えよう会」を開催。</p> <p>② 造成した花壇の草取り等の維持活動(月1~2回)。</p> <p>③ 百花繚乱ニュースを発行・竹山団地全体にプロジェクトの活動を周知。</p> <p>④ 百花繚乱ニュースを16-2法人のホームページに掲載。</p> <p>⑤ 花壇の水やりのための灌水用ホースを設置。</p>
<p style="text-align: center;">2年目 (令和9年度)</p>	<p>○民有地緑化</p> <p>① C部(1-7-7歩道沿い)法枠ブロック内の花壇化、D部(竹山1-7-1~7階段脇)雑草地3か所の花壇化。 土留め設置、土壌改良、四季の花5種を植栽。 ※D部の階段脇傾斜地の維持管理は、自費負担により業者に委託。</p> <p>○地域緑化活動</p> <p>① 百花繚乱ニュースを発行・竹山団地全体にプロジェクトの活動を周知。</p> <p>② 18-1住宅管理組合が主体に、住人が参加出来る箇所C部とD部で 花植え講習会と「みんなで花を植えよう会」を実施。</p> <p>③ 造成した花壇を定期的に維持活動(月1~2回)。</p> <p>④ 花壇の水やりのための灌水用ホースを設置。</p>
<p style="text-align: center;">3年目 (令和10年度)</p>	<p>○民有地緑化</p> <p>① E部(竹山1-7-1歩道沿い)法枠ブロック内の花壇化 土留め設置、土壌改良、四季の花2種を植栽。</p> <p>○地域緑化活動</p> <p>① 18-2住宅管理組合が主体に、E部で花植え講習会と「みんなで花を植えよう会」を実施。</p> <p>② 百花繚乱ニュースを発行・竹山団地全体にプロジェクトの活動を周知。</p> <p>③ 4団体が主体に造成した花壇を定期的に維持活動(月1~2回)。</p> <p>④ 花壇の水やりのための灌水用ホースを設置。</p> <p>○緑化プロモーション 完成した花壇の「お披露目会」を開催 ※自費負担により実施</p>

<p>協定締結終了後の活動について</p>	<p>① 4団体の代表で構成する「百花繚乱プロジェクト」は、協定期間終了後も継続します。</p> <p>② 造成した花壇を維持するために、4団体がそれぞれ「活動グループ」を結成します。16-2組合法人は既に活動している美化ボラがその活動を担います。</p> <p>③ 継続して緑を増やせるように、よこはま緑の推進団体に登録し、花苗の提供等の支援を受け、活動を行います。</p> <p>④ 「百花繚乱プロジェクト」が主体となって、4団体の「活動グループ」の交流会を実施し、維持管理活動の向上や相互の活動協力に繋がります。</p> <p>⑤ 引き続き「百花繚乱ニュース」による活動発信や花植えイベントを実施し、新たな参加者を増やしていきます。</p>
<p>資金計画</p>	<p>① 緑化整備費に係る自己負担分は、各管理組合が、それぞれの敷地内緑地整備分を予算化し負担します。助成期間終了後の維持管理費についても、各管理組合が、それぞれの敷地分について予算化し提出します。</p> <p>② 竹山一丁目東公園内の緑化整備費に係る自己負担分及び助成期間終了後の維持管理費は、竹山一丁目自治会が予算化して負担します。必要に応じて、プロジェクトに参加の3つの管理組合も負担することとします。</p>
<p>創意工夫</p>	<p>① 緑が多い団地の良さを活かし、現状をベースに緑の中に花を大幅に増やすことで、花と緑の団地をバージョンアップする計画としました。</p> <p>② 竹山団地のメイン通りであるバス通り歩道は、住宅管理組合と自治会による花植えイベント活動、イチョウの黄葉後の落ち葉清掃活動等によって清潔な通りとして維持しています。こうした住民の取り組みをベースにしており、より住民参加を広げることが可能であり、整備後も維持管理をすることが可能です。</p> <p>③ この活動を「百花繚乱ニュース」として発行するとともに、また16-2法人のホームページに掲載します。</p> <p>④ GREEN×EXPO2027に向けて、緑や花に親しむきっかけを創出し機運醸成を図ります。</p> <p>⑤ タウンニュースにリリースし団地内外に周知を図ります。</p>

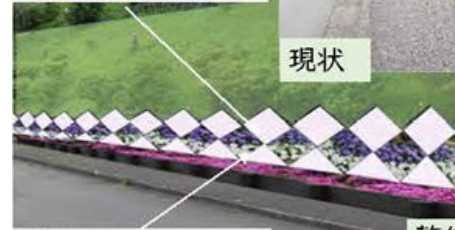
竹山一丁目百花繚乱の丘転換計画

花を楽しめる丘に転換

【E部(竹山1-7-1~2歩道沿い)】
(18-2管理組合内)

法枠ブロック内の花壇
(3年度目に実施)

タイム
開花時期 5月から8月



現状

ピオラ
開花時期 10月から5月

整備後のイメージ

【D部(竹山1-7-1~7階段脇)】
(18-1管理組合内)

雑草地进行花壇化 3か所
(2年度目に実施)



現状



整備後のイメージ



アメリジストセージ
開花時期 9月から11月

整備後のイメージ

【C部(竹山1-7-7歩道沿い)】
(18-1管理組合内)

法枠ブロック内の花壇
(2年度目に実施)



現状



現状



ピオラ
開花時期 10月から5月

ラベンダー
開花時期 5月から8月

整備後のイメージ

現状	バージョンアップ
雑草の丘 春先には 桜、椿、さつきが見ごろになる丘 花が終わると 笹、夏草が繁茂する	花を楽しめる丘に転換 沿道にそって法面の4箇所に タイム、ピオラ、赤・白芝桜 スイセン、アメリジストセージ アヤメ、アナベル ピオラ、ラベンダー等を入れる

【B部(竹山一丁目東公園下法面)歩道側】

現状	バージョンアップ
花が少なく寂しい 横浜市の管理用地	歩道沿いの一角(4m×10m)に花壇設置 (1年目に実施)(緑土木事務所と協議済み) 土留め設置、土壌改良、四季の花を5種植栽

コバノランタナ
開花時期4月から10月

季節の花が楽しめる丘に転換



現状



整備後のイメージ

- 竹山未来会議から2024年3月に竹山未来計画を発表。
- 竹山未来計画の実現のためプロジェクトを立ち上げ。
- オール竹山で四季の花いっぱいの法面に改善する。
- 住民参加型で実施する
鬱蒼とした丘が散歩しなくなる団地へとバージョンアップ

散歩したくなる団地づくり、
そして次世代に選ばれる団地へ

四季の花が楽しめる丘に転換

現状	バージョンアップ
既存花壇の老朽化 アジサイの花が終わると魅力の少ない通り	a. バス通り花壇を拡大して整備(1年目に実施) 土留め改修、土壌改良、四季の花13種を植栽 3段の花壇に、四季の花・多年草を植栽 既存のオキザリスと水仙はシンボル花壇に移植します b. アジサイ花壇のバージョンアップ(1年目に実施) アジサイの根元周辺一列に、アジサイの花後を彩る 彼岸花の植栽

【A部(竹山1-6-5バス通り歩道沿い)】
(16-2管理組合内)



現状



整備後のイメージ



カレンデュラ パワーデイジー
通年咲

ポーチュラカ オスカールレッド
春~秋開花

フロックス オープニングアクト
通年咲

ヤブラン 8~10月開花



セイヨウナンテン

シロタエギク

クリスマスローズ

ヒベリカム

シュウメイギク

アメリジストセージ

源平シモツケ

なでしこ

ユリオブスデージー

概算事業費（単位：千円）（注1）

助成項目		1年度目（令和8年度）	2年度目（令和9年度）	3年度目（令和10年度）	項目ごとの合計		助成率・助成金額の上限
1 民有地緑化	①設計等経費	0 (主な内容)	0 (主な内容)	0 (主な内容)	0		90%以内
	②緑化整備等経費	5,000 (主な内容) ①A部花壇整備工事費と材料費 ②B部花壇造成工事費と材料費	5,100 (主な内容) ①C部花壇造成工事費と材料費 ②D部花壇造成工事と材料費	3,500 (主な内容) ①E部花壇造成工事費と材料費	13,600		90%以内
	③その他経費	0 (主な内容)	0 (主な内容)	0 (主な内容)	0		②の30%以内かつ50%以内
	合計額（注3）	概算事業費 5,000 (助成見込額) 4,500	概算事業費 5,100 (助成見込額) 4,590	概算事業費 3,500 (助成見込額) 3,150	13,600 12,240		
2 地域緑化活動	①維持・管理費	200	200	200	600		①維持・管理費 90%以内 ②設備費 90%以内 ③広報費 90%以内（上限200千円/年度） ④研修費 90%以内（上限5千円/参加者1名） ⑤活動費 90%以内（上限140千円/年度） ①～⑤の合計1,000千円以内/年度
	②設備費	600	650	350	1,600		
	③広報費	200	200	200	600		
	④研修費	0	0	0	0		
	⑤活動費	90	90	80	260		
	合計額（注3）	概算事業費 1,090 (助成見込額) 981	概算事業費 1,140 (助成見込額) 1,026	概算事業費 830 (助成見込額) 747	3,060 2,754		
3 緑化プロモーション	①ハンギングバスケット等設置費	0	0	0	0		①ハンギングバスケット等設置費 50%以内（上限10千円/基） ②オープンガーデン開催費 50%以内（上限200千円/回） ③緑化啓発活動費 50%以内（上限50千円/回、申請上限2回/年） ①～③の合計500千円以内/年度
	②オープンガーデン開催費	0	0	0	0		
	③緑化啓発活動	0	0	0	0		
	合計額（注3）	概算事業費 0 (助成見込額) 0	概算事業費 0 (助成見込額) 0	概算事業費 0 (助成見込額) 0	0 0		
年度ごとの合計（注1,2）		概算事業費 6,090 (助成見込額) 5,481	概算事業費 6,240 (助成見込額) 5,616	概算事業費 4,330 (助成見込額) 3,897	総合計	16,660 14,994	助成見込額の3年間の総合計が15,000千円以内

注1：助成金額は、千円未満切り捨てとなり、端数は自己負担金です。
 注2：助成金額の上限は、地域緑化計画書で定めた各年度ごと・各項目ごとの助成見込額です。（年度ごとに助成事業を完了させる必要があります。）
 注3：項目内における細目間での事業費の見直しは可能です。

（注意事項）